



むらさん

第21号

発行者
山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会
印刷
中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700

創立10



対面式

周年記



入学式

念特集



PTA総会



甲子園県予選全校応援



前期生徒総会



部紹介

本校PTAが、本年度の文部科学大臣表彰並びに県優良PTA表彰の栄誉を受けたことは、本校の教育活動を支える皆様が、長年にわたりご支援とご協力を惜しまず、活動を継続していることが評価されたものであります。

今後も皆様と共に、「One Team村産」として、本校の教育活動に邁進して参りますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

本校は平成二十六年に県内初となる農業・工業・商業の三学科を有する産業高校として開校し、本年度は創立十周年の記念すべき年を迎えました。これまで本県の教育目標である『人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり』の実践に向け、日々の教育活動に取り組んでおります。PTAや同窓会をはじめ地域社会との連携・協働を強め、多くの皆様からのご支援とご協力が集結することで、本校では各分野の成果に繋がっております。

保護者の皆様には、日頃より本校のPTA活動にご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

山形の未来をひらく人づくり



校長

坂井 孝朗

日進月歩

今年度、PTA会長を拝命いたしました植松です。常日頃よりPTAの活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。村山農業高校と東根工業高校が併合し、新たに商業科を加えて村山産業高校が誕生してまる十年の月日が経ちました。この十年間、多くの方々の御指導、御鞭撻を賜りながら、学業・部活動において大活躍を続けております。この活躍は連日の新聞やテレビ等に取上げられ多くの方々の知るところとなっております。これから、「村産祭」や「ムラサンキタマチマルシェ」と保護者や地域の方々が来校し、生徒たちの素晴らしい活動の数々に直接触れられる機会もございます。是非御来校いただき、この十年で日進月歩の勢いで進化した「村産」を感じていただき、応援していただければ幸いです。



PTA会長

植松 大祐

十年の歩みと未来への挑戦！

PTA副会長 平山 龍一

この度、山形県立村山産業高校は創立十周年という節目を迎えられました。心よりお祝いの言葉を申し上げます。

PTA副会長として、私は村山産業高校の教育活動に深く携わり、生徒たちの成長や地域への貢献など、多くの素晴らしい場面を目の当たりにしてきました。

地域経済の活性化に貢献する人材育成、地域行事への参加、ボランティア活動などを通して、地域との繋がりを深め、グローバル化や情報化社会に対応した人材育成にも力を入れています。まさに地域の発展に繋がる取り組みであり、大きな希望となっています。

十周年を迎え、村山産業高校はさらなる発展に向けて新たな挑戦を続けています。今後も地域に根差した教育活動を展開し、地域社会の発展に貢献していくことを期待しています。

PTA活動は、村山産業高校の教育活動を支える重要な柱の一つです。地域住民の皆

様には、これまで以上にPTA活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、村山産業高校がこれから地域に愛され、誇れる学校として、発展していくことを願っております。

創立十周年、誠にありがとうございます。

創立十周年記念式典に向けて

PTA副会長 渡辺 敏充

村山産業高等学校の創立十周年記念式典を心より御祝申し上げます。東根工業高校と村山農業高校が統合し、商業科を加え農業、工業、商業を学ぶ場として誕生した本校は、この十年間で地域に根差した教育を提供し、多くの人材を育成してまいりました。

私の子供たちもそれぞれの分野で学び、多くのことを学び成長してまいりました。長男は工業、長女は商業、次男は農業と、子供たちが本校で得た知識と経験は、彼らの未来に役立つことでしょう。

今後も村山産業高等学校が、地域とともに発展し未来を担う若者たちの、成長を支える

場としてさらに発展されることを願っております。

創立十周年を迎えて

研修委員長 佐藤 慶久

村山産業高校創立十周年を迎えられ、誠にありがとうございます。

これもひとえに教職員、PTAの皆様のご尽力の賜物であり敬意を表したいと思っています。

さて、この創立十周年は村山産業高校の最初の節目であり、これからの村山産業高校の長き歴史の第一歩であると思っています。

これまで数多くの卒業生を育て上げ、これからも村山産業高校の教育目標の一つである「知・徳・体が調和し豊かな人間性を育み、誠実な行動による社会の信頼に応える人間の育成」を歩み続け、数多くの卒業生を世に羽ばたかせてくださりますようお願いしております。

最後に十周年を契機として村山産業高校のさらなる発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

創立十周年記念式典を迎えて

広報委員長 下山 国宏

村山産業高等学校が創立十周年記念式典という記念すべき節目を迎えられましたこと心より御祝申し上げます。東根工業高校と村山農業高校が統合し商業科を加え、平成二十六年に誕生しました。今や村山産業高校の躍進ぶりは色々な分野で実に輝かしいもので、目を見張るものがあります。これもこれまで尽力された生徒、教職員、保護者、地域の方々及び学校関係者の御協力のお陰だと思い、深く敬意を表し感謝申し上げます。ともに今後ますますの発展を期待しております。

最後になりますが、今回のPTA会報の編集に当たり御協力いただきました生徒、保護者の方々に感謝を申し上げます。



学校創立十周年に寄せて

生活委員長 庄司 春奈

村山産業高校の十周年を迎えるにあたり、心からお祝い申し上げます。

今から十年前、村山農業高校と東根工業高校が合併し、県内初となる農業・工業・商業からなる村山産業高校が誕生しました。農業・工業・商業という異なる分野を統合的に学ぶ機会を提供し、多様な知識と技能を持つ人材の育成に貢献してきました。これにより、学生たちは実践的なスキルを身につけ、地域社会での活躍の場を広げています。

設立から今日まで、先生方の熱心な指導と地域の皆様の温かい支援があつてこそ、学校の発展が実現しました。保護者として、これまでの努力と成果に心から感謝申し上げます。未来に向けて、更なる教育の充実と地域との連携強化を期待しています。

村山産業高校のこれからの歩みが、一層の成長と発展を遂げることを願い、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

十周年のお祝いと共に、さらなる飛躍をお祈り申し上げます。

* 学科紹介 *

農業経営科

農業経営科では、「作る（栽培する）」「加工する」「販売する」の農業の六次産業化に則した学習を行っています。地域に根差した果樹栽培では、オウトウ、西洋ナシ、リンゴ、ブドウ等のすべての栽培管理を経験し、農業の基礎を身に付けます。また、地域の農家による剪定方法の指導も仰ぎ、現場の活きた技術も学んでいます。作物部門においては、地域で栽培されている水稲品種の他に、旧村山農業高校原産の酒米「山酒四号」を用いて栽培し地元の酒造会社「六歌仙」様と連携し、日本酒「花ひかり」を製造、販売していただいております。

加工技術においては、栽培した果物を缶詰やジュースに加工する技術やパンや菓子類、漬物や麺類等の製造方法を広く学び、農業の六次産業化を実践できる能力を様々な事業を通して身に付けていきます。

村山市のふるさと納税返礼品への出品も進めており、生産物を扱う学科の強みを活かして、生徒の学習に深みが出るように取り組みを深めていきたいと考えております。

みどり活用科

みどり活用科では、豊かな自然資源を育て、活用し、保全するための学習活動を通して、持続可能な社会の在り方について学んでいます。園芸活用コースでは、露地や温室で多品目の野菜や草花の栽培を中心に学び、フラワーアレンジメントや園芸装飾の検定合格にむけた学習を行います。緑地保全コースでは、広大な演習林を活用した実習を多く行い、森林の管理保全や測量、土木などの学習を行っています。本科では、変化の早い現代社会の先頭に立ち、主体的に考え活動できる生徒の育成を目指し、専門家や技術者の指導を受ける機会や、学習成果を発揮する場を地域に求める等、社会との接点を多く設けるようにしています。農業や林業の基礎的な学習を充実させながら、最新の知識技術の獲得の両立を目指し教育活動を充実させてまいります。



機械科

機械科は、三年生が二十名、二年生十三名、一年生十二名の合計四十五名の生徒が在籍しています。少数精鋭の集まりになってほしいと、少人数の班編成で実習に取り組んでいます。また、専門教科においては、T方式できめ細やかな指導に配慮し、特に資格検定取得に力を入れています。

一年生は入学して五カ月が経ちましたが、計算技術検定に取り組み全員合格しました。二年生は、自分の行きたい企業のアンケートを取り、六月にインターシップ実施し、事前事後の企業研究の発表を行いました。三年生は、前期ジュニアマイスター顕彰にて、ブロンズ五名、シルバー二名、ゴールド二名と昨年度を上回る生徒達が受賞予定です。

現在は、八月に行われる国家技能検定に向け、十七名の生徒が休日も登校し、実技試験練習に取り組んでいます。

また、進路に向けての四者面談を行い、就職希望者十四名、進学希望者六名が、それぞれの進路実現に向けて、取り組みを本格化しているところです。

十一月には昨年度に引き続き、全日本製造業コマ大戦むらさみ場所を開催予定です。生徒が大会運営の中心となり、昨年度以上の盛り上がりになるよう、職員・生徒一丸となり取り組んでいきたいと考えています。

電子情報科

電子情報科は、AIやIoT技術を基礎とした新しいものづくり活動や、学校で学んだ専門知識を基盤に技能検定・電気工事士などの国家資格に挑戦しています。さらに三年生においては第二級デジタル通信の国家資格取得にクラス全員が受験しています。

今年度は、三年生が合格しました。競技会では、三年生が太・矢萩哉多が、技能五輪全国大会（十一月・愛知県）ウェブデザイン職種に出場を決めました。さらに三年秋保大地・松野優磨が若年者ものづくり競技大会（七月・群馬県）ウェブデザイン職種に出場しました。他にも高校生ものづくりコンテストの山形県大会には電気工事部門・電子回路組立部門の二つの部門に三年の海谷春季・相馬彰治郎がそれぞれ出場しております。

ものづくりの活動では、むらやま徳内まつりの「木札」を電子情報科のレーザ加工機で製作し、実行委員会に寄贈しました。課題研究のリーダーである三年の平山祥暉がテレビやマスコミの取材をうけ、当日夕方のニュース番組に大きく取り上げられました。

流通ビジネス科

今年度、三年十四名、二年二十三名、一年二十名あわせて五十七名の在籍です。二年生は、インターシップ就業体験を六月に実施しました。市役所、金融、ホテル、スーパーマーケットなどを中心に、できるだけ進路希望に沿った体験先で全員が取り組みました。多くのお褒めの言葉をいただきました。三年生は、課題研究ではグループごとと研究テーマを決定し、実地調査等に取りかかり始めました。また、商品開発と流通の授業では、地元ラーメン店とコラボし生徒発案の新メニューが発売されます。一年生は、入学後初めての検定試験を六月と七月に受験しました。合格の喜びが新たなモチベーションとなり、次の目標に向かって努力する力になってくれることを期待します。また、進路に向けての四者面談を行い、就職希望者三名、進学希望者十一名が、それぞれの進路実現に向けて、取り組みを本格化しているところです。

生徒一人ひとりが目標を見つけ、頑張れるよう、職員・生徒一丸となり取り組んでいきたいと考えています。

生徒会役員紹介



生徒会活動について

生徒会長 増川 琳太

今年が創立十周年記念式典が開催される節目の年です。十周年という節目を機に、これからの村山産業高校が更に発展していけるよう生徒会が中心となり、学校、そして地域全体を盛り上げていきたいと思っています。まずは、これから行われるクラスマッチや村産祭、ムラサンキタマチマルシェなどの行事に向けて生徒会理事や各種委員会と連携して精一杯頑張っていきたいと思います。今年度の生徒会活動へのご協力をよろしくお願い致します。

生徒会活動について

生徒会副会長 佐藤 颯俊

私が生徒会に入り、約半年の月日が流れました。私は生徒会役員として様々な活動をしてきました。卒業生へ向けてのフォトスポットや黒板アート、最近ではオープンスクール等、忙しく大変な活動ばかりでしたが役員みんなと協力し大成功にできました。これからも沢山の活動があるので、さらに村山産業高校を盛り上げていけるように自分のできることを全力で行い、役員みんなと力を合わせ大成功を連発させていきたいと思っています！！

生徒会活動について

生徒会副会長 原田 陽生

私が生徒会に入ってから半年が経ちました。私は生徒会議長として、「学校を盛り上げていく！」……そう思い、この前期に生徒会長の強いリーダーシップの下に数多くの企画や行事を行うことができました。特に、オープンスクールでは生徒会役員、そして生徒会理事が中心となり一丸となって村産の魅力を中学生に伝えることができました。残りの任期の中で、まだ多くの行事が控えています。生徒会が主導して盛り上げられるよう引き続き頑張っていきたいと思います。

生徒会の活動について

生徒会副会長 佐竹雪雨

今年度は生徒会が中心となった、壮行式や野球応援などの活動を通し村産生徒の手で村産を作り上げる素晴らしい風潮を築いていると感じています。

しかし、二大行事であるクラスマッチと村産祭の日程が近くなったことについて日程調整をもっと早くしておくべきだったと反省をしています。これからクラスマッチや生徒会選挙に向けて精一杯取り組んでまいりますので今後とも生徒会活動への御協力を宜しくお願い致します。

今年の生徒会

生徒会副議長 山口 晃季

今年の壮行式や野球応援は生徒会が中心となって行いましたが、生徒の皆さんが声を出すなどしていただいたおかげで素晴らしいものになったと思います。

その他にも生徒総会等の議事進行もスムーズに行えたと感じています。また、村産の代表として活動できるのは生徒の皆さんが生徒会活動への理解をして頂いているからだと思っています。残りの任期の中も様々な行事等に関わることにありますので精一杯頑張っていきたいと思います。

PTA東北大会に参加して

一学年委員長 柿崎 広志

今回の大会の研究協議テーマは、「未来を生きる子どもたちを育むための家庭・地域・学校の連携の在り方」となっており、東北六県それぞれの代表から発表があった。

宮城県では、PTA役員の引き受け手問題や行事への参加率の低さ等が課題で、その中で活動の見直しや取り組みを行っていた。

秋田県では、地域の商店街とPTAが連携してディスプレイの装飾や傘の貸出「巡り傘」など、地域との交流が印象的だった。

青森県では、PTA実行委員のOB・OGで結成されているPTA同窓会や、保護者ネットワークを活用して、様々なボランティア活動など歴史のある活動が根付いている。

岩手県では母親委員会という組織があり、テラリウム作りのワークショップ開催など、自分たちも元気になる活動を目標としている。

福島県では、「睡眠」をテーマとして、アンケート調

PTA各種大会に参加して



査による現状把握から講演会の実施を行い、生徒・保護者へ睡眠の大切さを科学的なアプローチで理解させていた。山形県では、「持続可能なPTA」をコンセプトの基に、学校・家庭・地域を繋ぐ役割として様々な活動に取り組んでいた。

全ての県で共通しているのは、コロナ禍や働き方改革を経て、PTA活動の在り方について模索中であるとの事。最後に、山形県大会で講演をされたマンジヨット氏の話の中で印象に残った事は、日常生活で目にする光景や物、仕組みには、様々な意味があり、それを何故？どうして？の目線で日頃から観察し、それらを家族や友人知人と共有することが大切であるとの事。そこから始まる何かがあるはず……。

部活動紹介〔運動部編〕

自転車競技部

選手八名、マナージャー三名で活動しています。常に全国大会を目指し練習に取り組んでいます。大分県でのインターハイに一名出場することができました。

夏の暑い中での練習も乗り越えたので、今後の県高校新人大会での全国選抜大会出場権獲得と十月佐賀県での国民スポーツ大会に一名参加が決定したので、頑張ります。これからも応援お願いします。

陸上競技部

春の総体が終わり、三年生が引退して、現在、男子八名、女子一名で活動しています。新たなメンバーで秋の新人戦に向けて、暑さにも負けずに毎日の練習に励んでいます。部員一人一人が自分の目標を掲げ日々成長しています。新人戦では、練習の成果を十分に発揮し、自己ベスト更新を目指して頑張っています。応援をお願いします！

野球部

過日行われました選手権山形大会では、多くのご声援をいただきました。勝ち切ることはできませんでしたが、特に三年生は三年間の執念、意地をグラウンド上で示してくれたと感じています。

公立高校の部活動の存在意義が問われるなか、野球部が先陣をきって部活動のあるべき姿を体現していけるよう日々頑張っています。覚悟と信念を持って頑張ります。

剣道部

剣道部は一年生二人で活動しています。人数が少ないですが、それでもみんなで楽しんでいます。人数が少ないので、出稽古に多く関わっています。東桜学園や、寒河江高校や新庄神室産業や日大山形高校などに行つて稽古させていただきました。夏休み中には宮城県岩沼市で行われた錬成会に参加しました。また、最近はず振りの量を増やし、基本を大切にしています。試合で一本をたくさん取れるように、これからも稽古を頑張りたいです。

柔道部

私達柔道部は、少ない人数のなかでも元気に活動しています。休日には他校の生徒や警察官、自衛隊の方々に練習に参加していただき柔道のみならず、社会人として大事なことも心構えについても教えてもらっています。

今後の目標としては県大会での一勝です。目標達成のために全員で勝ちに行きます。これからも明るい部活動で継続し盛り上げていきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、二年生五人と一年生三人、マナージャー二人の合計十人で活動しています。人数は少数ですがウエイトや外周などの体づくりや体力づくり、ドリブル練習やディフェンスの態勢など基本的なことを一生懸命行っておりま。今回の目標は地区大会三位なので、これからも練習に精進して頑張っています。

男子ハンドボール部

男子ハンドボール部は、プレーヤー六人、マナージャー二人の計八人で地区大会優勝

を目標に活動しています。試合では、プレーヤーが六人しかいないので、一人少ない状態で戦わなければいけないのですが、目標を達成することができるよう日々練習を頑張っています。

目標達成のために一人ひとりの実力を高めていけるよう、これからも仲間とともに練習を頑張っています。

山岳部

入学生が少ないのに任意加入制、心配したが三名が仲間に加わり元気に活動しています！

福岡I日に出たくて春休み九重連山と合わせて九州遠征も行った。三人の先輩と準備や当日も頑張ったのに優勝に僅かに届かず悔しかった。気持ちを切換え東北大会。失敗を克服し三位！嬉しかった。七月、新チーム。五名と少ないが鳥海山シートウサミツトや立山剣岳登頂など伝統に恥じぬ活動を心掛けています。

サッカー部

私たちサッカー部は、今まで頼りにしていた先輩方が引退し、新たに一年生が入部しました。

新体制のチームになって、県総体出場という目標を掲げました。この目標を達成する

卓球部

私達卓球部は、現在男子十名、女子三名で活動しています。

大会では一つでも多く勝ち上がることを目標に、日々活動しています。限られた時間の中でも成果が出せるよう、課題を明確にし、みんなで協力しながら練習に励んでいます。また、支えてくださる方への感謝の気持ちを忘れず、これからも日々精進していきたいと思います。

硬式テニス部

テニス部は二年生二人と一年生八人で活動しています。一年生は全員初心者ですが練習の時は前向きで、練習を投げ出すことは決してありません。チーム一丸となって試合に臨みます。

テニス部の目標は、目指せ県大会一勝です。まだレベルが低い状態ですが、気持ちの面では全員強いので練習を大切に目標を達成したいです。

前期部活動等結果報告

■最北地区高等学校総合体育大会

・陸上競技部

男子400m	第2位	渡部 瑛士
男子ハンマー投	第2位	板垣 歩斗
男子砲丸投	第2位	板垣 歩斗
男子やり投	第3位	佐藤 謙俊
男子4×400mリレー	第3位	仲嶋 琉衣
男子ハンドボール部	第1位	仲嶋 大地・渡部 瑛士・仲嶋 殊文・後藤 及太

・テニス部

男子団体	第2位	八畝 優彦
男子ダブルス	第3位	森 亮斗

・自転車競技部

1kmタイムトライアル	第2位	庄司 薫
3kmインデビデュアル・パシフィック	第3位	庄司 薫

・柔道部

男子個人81kg級	第2位	中鉢 怜夢
男子団体	第2位	中鉢 怜夢

・卓球部

男子個人	第1位	加藤 暖
男子団体	第3位	伊藤 暖

・陸上競技部

男子やり投	第3位	佐藤 拓海
自転車競技部	第3位	佐藤 拓海

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

4kmチームパシフィック

第1位	佐々木 太成・田中 啓斗・チームスプリント
第2位	庄司 薫・小坂 怜央・佐々木 太成
第3位	68・4kmインデビデュアルロードレース

・トラック総合

第1位	佐藤 謙俊
第2位	板垣 歩斗
第3位	仲嶋 琉衣

・ロード総合

第1位	佐藤 謙俊
第2位	板垣 歩斗
第3位	仲嶋 琉衣

・学校対抗総合

第1位	佐藤 謙俊
第2位	板垣 歩斗
第3位	仲嶋 琉衣

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

・山岳部

個人	第1位	加藤 暖
団体	第3位	伊藤 暖

村産ギャラリー



あとがき

今年度最初の「むらさん」を皆様の御協力のおかげで発行することができました。創立十周年を迎えて学校行事も色々とあると思いますので、先生方、生徒、保護者の方々と盛り上げていただければと思います。

広報委員長 下山 国宏